



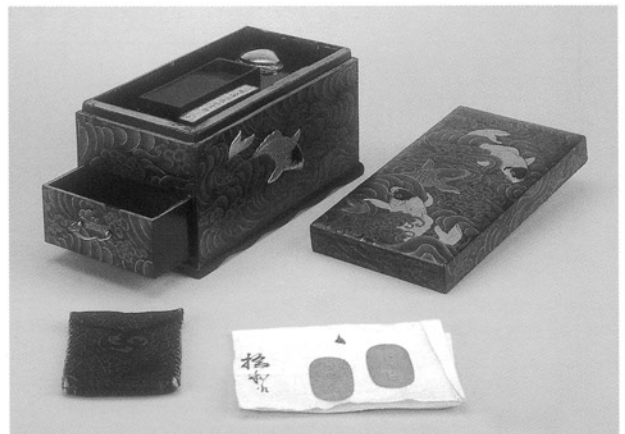
橋本左内を 知っていますか

●会場 1階松平家史料展示室
 ●会期 平成17年5月11日(水)～7月13日(水)
 <休館日6月20日(月)>

幕末の福井藩士・医師・政治思想家橋本左内について、入門的な内容を遺品や関係史料により展示します。「いったい橋本左内という人は、どんなことを考え、どんな仕事をのこし、どんな生涯を送りどんな人だったのでしょうか。」ということを中心に紹介しています。

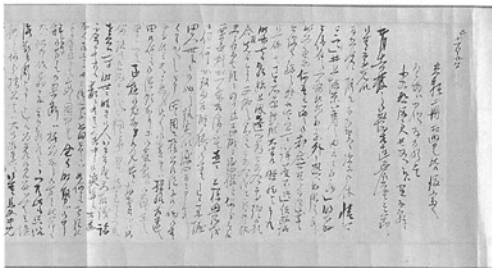
生涯 (こんな生涯をおくりました。)

橋本左内(景岳)は、天保5年(1834)3月11日福井城下常盤町(現在の春山2丁目)で藩奥医師橋本長綱の子として生まれました。弟に綱維・綱常がおり、二人とも優れた医師になっています。幼少の頃から秀才の誉れ高く、藩の医学校済世館で漢方医学を、また吉田東篁には儒学を学びました。16歳の時、大阪の緒方洪庵塾(適塾)に入って蘭学研鑽に努めましたが、父の病気により福井に帰り、父の跡を継いで藩の医者になりました。しかし、学問への熱意は冷めずついに江戸へ留学、杉田成卿に蘭学を塩谷宕陰らに漢学を学びました。しかし、安政2年(1855)22歳の夏、急に藩命により書院番に列しました。これは、中級藩士の身分であった彼をその才能を認めて上級藩士に位置付けるほどの大抜擢でした。将来を大いに嘱望された彼は更に勉学に努め、藩校明道館の教育改革を命じられ人材の育成に尽力しました。その後、藩主松平春嶽(慶永)に近侍し、將軍継嗣問題と条約問題に関与します。しかし、春嶽の政敵、井伊直弼が大老に就任すると春嶽は政争に敗れて隠居急度慎を命じられます。左内も投獄され、安政6年(1859)10月7日26歳の若さで江戸伝馬町の獄舎にて処刑されました。



●波頭鯉模様蒔絵硯箱

業績 (こんな仕事をしました。)



●いわゆる「日露同盟論」の書簡

1. 嘉永元年(1848)15歳の時、自己の規範として『啓発録』を著しました。
 2. 藩校明道館の教育改革では、時代に即した教育をするため、教員の意識改善や数学科の新設を行ない、また文武一致の教育方針と安易な外国崇拜に陥らぬよう国風の学問も重視しました。
 3. 松平春嶽が一橋(徳川)慶喜を將軍後継者に推して国力を充実させようとした活動にしたがい奔走しました。
 4. 世界的視野に立った外交論を展開し、特に日本はロシアと同盟を結ぶべきだと考えました。
5. 条約締結など外交問題は幕府が独断で行なうのではなく、朝廷の意見を尊重し、またよく議論を重ねて決定すべきだということを京都の公家たちに説明しました。
6. 多くの優れた漢詩を遺しました。

人柄 (こんな人がらでした。)

1. とにかく早熟、秀才で落ち着いており、12歳頃には既に成人のような言動でした。
2. 大阪の緒方洪庵塾をはじめどんな先生に師事しても将来を期待された秀才でした。恐れられ羨ましがられるほどの秀才でした。
3. 何を質問しても応答が響くようにかえってきました。将来この世の中の学者の心を引きつけるだろうと期待されました。

4. 背は低く色白でやせた優しい姿、しかし、弁舌鋭く眼光は電光のようで15、16歳の頃から何となく他人と異なっていました。
5. 亡くなる日まで毎日早起き、直ちに日課のように蘭書を読む。読書は1日も欠かしたことがなく食事中でも本を離さず読んでいました。
6. 他人の物まねが上手。特に退屈になると西郷隆盛と中根雪江の物まねをして笑っていました。また猫のなき声が得意だったといいます。
7. よくみえるところへ登って遠くを見、よく見てよく聴くことを心掛けていました。
8. 家事には無頓着。すぐに仕事を優先しました。
9. ミカンが大好物。あるだけみんな食べてしまいました。

(山田秋甫『橋本左内言行録』などを参考)

「橋本左内を知っていますか」列品目録

| 名 称 | 員 数 | 備 考 |
|---|-----|------------------|
| こんな生涯をおくりました | | |
| 1 「長綱先生履歴並墓表」 | 1冊 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 2 橋本左内幼時期着用 定紋付袴 | 1領 | 本館蔵 |
| 3 吉田東篁筆「春来春去 云々」の詩幅 | 1幅 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 4 吉田東篁筆「送橋本弘道遊浪華序」 | 1通 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 5 岳飛筆「至宝」石摺の扁額 | 1額 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 6 杉田成卿蘭文原稿 | 2通 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 7 橋本左内筆「館務私記」 | 1綴 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 8 佐々木長淳筆松平春嶽肖像画 | 1面 | 油彩 福井市春嶽公記念文庫 |
| 9 橋本左内着用 夏用肩衣 | 1領 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 10 松平春嶽筆「時勢急務策」安政5年5月22日徳川斉昭宛意見書 橋本左内・中根雪江朱筆添削 | 1綴 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 11 波頭鯉模様蒔絵硯箱 | 1具 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 12 橋本左内筆「雪中松柏愈青々云々」の詩幅 | 1幅 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 13 橋本左内筆 幕吏の審問に対する応答次第書 安政5年10月22日付 | 1通 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 14 松平春嶽書状 万延元年9月4日付 松平茂昭宛 | 1通 | 越葵文庫 |
| こんな仕事をしました | | |
| 15 橋本左内筆「安政丙辰二月日録」 | 1冊 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 16 橋本左内筆「学制に関する意見笥子」 | 1通 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 17 橋本左内筆 明道館に算科局を設くべき意見書 | 1通 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 18 徳川慶喜筆「鬼神泣壯烈」の書幅 | 1幅 | 個人蔵 |
| 19 橋本左内書状 安政4年11月28日付 村田氏寿宛 (いわゆる「日露同盟論」)の書簡 | 1通 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 20 橋本左内筆「其意不在書云々」の詩幅 | 1幅 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 21 「藜園遺草」稿本 松平春嶽校閲本 | 2冊 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| こんな人がらでした | | |
| 22 橋本左内書状 嘉永5年閏2月15日付 太田良策ほか宛 | 1通 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 23 橋本左内筆「読書筆記」 | 1冊 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 24 橋本左内所用 桐製書見台 | 1具 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 25 橋本左内書状 安政6年9月28日付 母梅尾宛 | 1通 | 個人蔵 |
| 26 拝領 麝香包み | 1包 | 福井市春嶽公記念文庫 |

今回の展示 (松平家史料展示室)

お殿さまの衣紋

7/16(土)～9/28(水)

新刊紹介

やさしい啓発録 ¥300

(当館受付で好評販売しております)

◎見どころ講座 橋本左内を知っていますか

日時 6/18(土)午後2時～
場所 講堂(2階)
担当 角鹿尚計(当館学芸員)
定員 60人 当日受付

松平家史料展示室 展示解説シート No.11
平成17年5月11日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3-12-1
電話(0776)21-0489
FAX(0776)21-1489
担当 角鹿尚計